

ウラオソイの門

アーチ門のイメージ写真



浦添ようどのアーチ門

ヒーシャー(水場)のイメージ写真



仲間樋川

ヒーシャー再現
ふれあい水場

ちょっと一息スペース

はじめに

・ウラオソイとは津川浦々お襲う(諸国を支配する)という意味で浦添市の名前の由来となっており、この浦添大公園に遺跡として残る城跡がかつての繁栄を物語っています。

この浦添大公園にふさわしいメインエントランスを古琉球グスクのアーチ門をファサードにかまえ、訪れる人々を内部へと導き、うねったスーシグァー里道を歩きながら浦添城跡の歴史や文化にふれあえる計画としました。



アーチ門

ファサード 西側立面図 1/200

歴史学習ゾーンとしての役割

- ・学習ゾーン、会議室、多目的室の機能に対応したフレキシブルな空間にするため平面計画を単純な箱型にし、オープンに活用できるようにイス、テーブル、その他を収納できるようにしました。
- ・ベンチを置き一息入れる場所から東の森(城跡)が見えるように全面ガラス張りにし配慮しました。
- ・地域やグスクに代表されるヒーシャー(水場)の再現により歴史にふれる憩いの場になるよう計画しました。

景観への配慮

○仲間重点景観地区の主旨に沿い歴史地区に配慮した計画とします。

- ・里道等のスーシグァーやこもれ日をアプローチに採用します。
- ・琉球石灰岩・奇棟屋根の県産赤瓦の採用。
- ・グスクや民家のデザインを取り入れたアーチ門や外観の再現。
- ・塀などをせず風通しの良い計画とする。
- ・設備機械等が外から見えないよう配慮します。
- ・敷地内緑化をします。

里道のイメージ写真



当山の石畳道

建築概要		
管理部門	管理事務所執務室	73㎡
	外部倉庫	10㎡
学習部門	学習(会議室・多目的室)	95㎡
	倉庫	17㎡
	保管倉庫	20㎡
	風除室	13㎡
トイレ部門	男女・多機能トイレ	25㎡
合計床面積		253㎡
半屋外空間		90㎡
全体面積		343㎡



1階平面図 1/200



■ユニバーサルデザインへ配慮

- ・ユニバーサルデザインの7原則をふまえ適切な設計をします。
- ・観光に訪れる外国人・老若男女にも分かりやすいサイン計画をします。

■維持管理への配慮

☆ライフサイクルコスト(LCC)をふまえ総合的に計画します。

○建築計画

- ・自然光を取り入れる事で昼間の照明点灯を少なくします。
- ・屋根断熱材、窓ガラスの日射対策をする事で空調負荷を低減します。
- ・屋根に防水をし耐久性を向上させます。

○電気計画

- ・省エネルギーのLED照明の採用。
- ・トイレなど人感センサーにより照明のON・OFFします。

○設備計画

- ・給水にはさや管を使用しメンテナンス性・更新性を配慮します。
- ・衛生器具には節水型・オート水洗・流水擬音装置を採用し水資源に配慮します。

■安全への配慮(防犯)

- ・セキュリティの機械化により防犯カメラの設置、赤外線感知器の導入。
- ・消火設備は展示品や保管品に対し適切に計画します。
- ・もちろん人命優先にて消火設備、非難経路を確保します。
- ・バリアフリー(県条例)を徹底しみんなにやさしい建築を実現します。
- ・管理時間外は半屋外トイレを格子戸にて施錠できるようにしました。

■その他

- ・無線LANなど情報機器、端末等に対応した計画とします。
- ・サーバー室を設置し将来の増設機器に対応します。
- ・太陽光パネルの導入により地球環境に配慮しました。
- ・休憩スペースを設けこいの場を計画しました。



里道のイメージ写真



パーゴライメージ写真



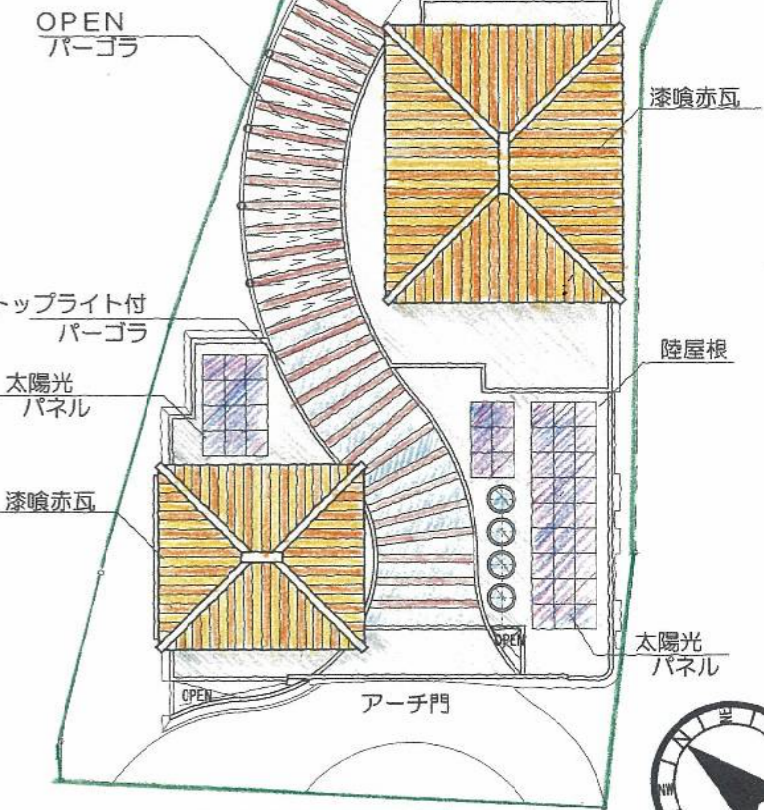
漆喰赤瓦イメージ写真



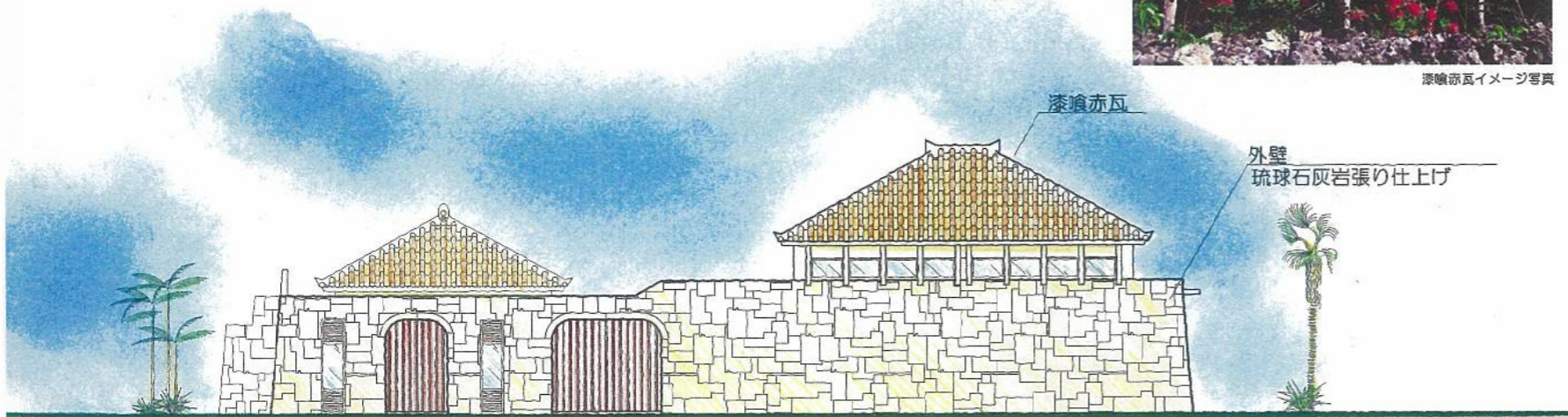
太陽光パネルイメージ写真



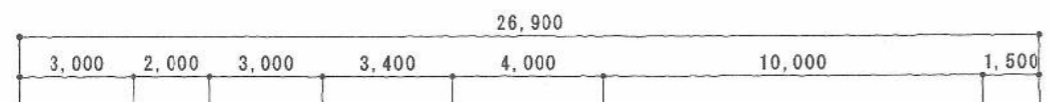
琉球石灰岩壁のイメージ写真



屋根伏図 1/300

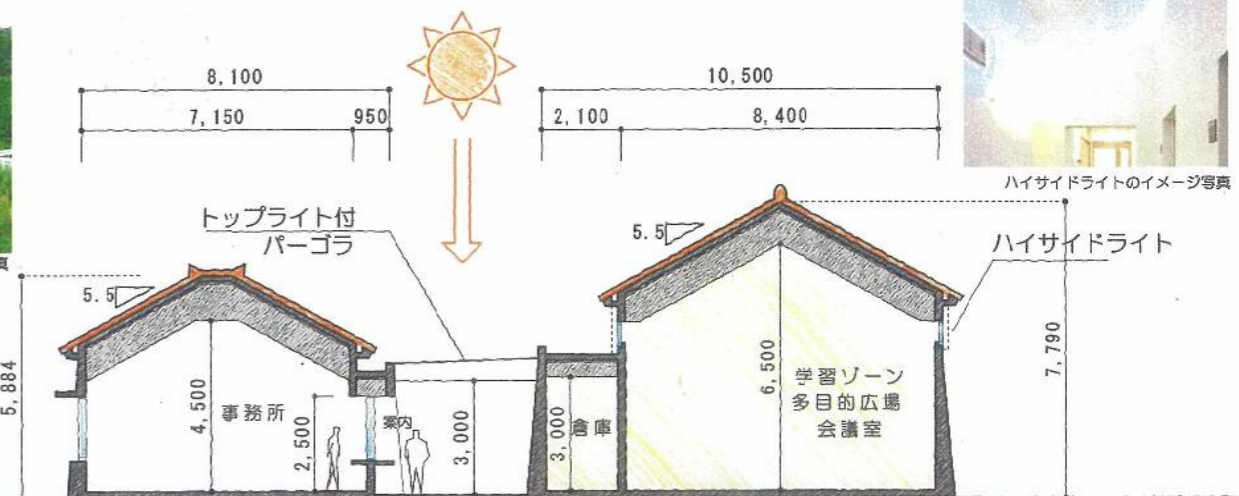


南側立面図 1/200



現況 森の写真

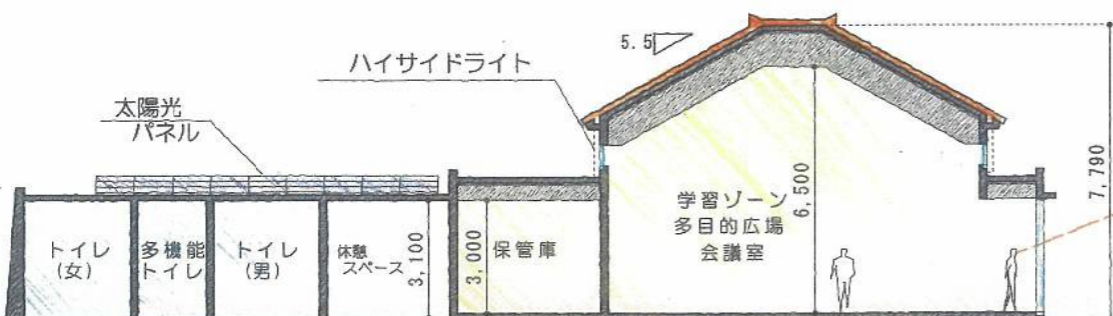
森を見る(浦添城跡)



B-B' 断面図 1/200



ハイサイドライトのイメージ写真



A-A' 断面図 1/200